



郷土愛を育み、ずっと住み続けたい  
まちづくりを目指してまいります

白河市議会議長  
つつい たかみち  
筒井孝充

今年も、議会が一丸となり、二元代表制の一翼を担う機関として、その役割と責任をしっかりと自覚し、市民の皆様のご期待に応えられるよう、行政と市議会が創意工夫と英知を結集し、課題解決にまい進していく決意を新たに、鋭意努力をしまいる所存であります。

結びに、新しい年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。

議会においては、議長への手紙や、インターネットによる議会ライブ中継および録画配信を行うなど、市民に開かれた議会運営とともに、議員自らの判断により、次期改選から議員定数を2名減とする決議を行ったところであり、議会の改革・改善に努めてまいりました。

また、先人より継承される歴史遺産を地域資源として生かした魅力あるまちづくりや観光振興へ積極的に取り組むことで、企業・商業活動の活性化や観光客の増加など、白河市の産業・観光振興、ひいては経済活性化につながっていくものと思っております。

本市は、県南地方の中核としての役割を担い、文化交流館コミネスなど文教施設の整備やライフラインである国道294号バイパスなどのインフラ整備が着々と進んでおり、都市機能の充実が図られ、着実な発展を遂げております。

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい平成31年の初春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

今年あけましておめでとうございます。

さらなる「飛躍」を目指し  
まちづくりを進めてまいります



白河市長  
すずき かずお  
鈴木和夫

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

戊辰戦争から150年という大きな節目を迎えた昨年、本市では、市民の皆様とともに、様々な記念事業に取り組みました。とりわけ、7月には、東西両軍の関係者約千名の出席のもと「合同慰霊祭」を厳粛に執り行い、白河に息づく「仁」のこころを全国に発信することができました。

また、明日の地域を支える子どもたちの活躍は目覚ましく、スポーツや音楽・文化活動など多様な分野において、全国レベルの大会に出場し、輝かしい成績を収める姿に誇らしさを感じております。

今年「平成」から新元号に変わります。平成は、人口減少社会の到来や大規模な自然災害が相次ぎ発生するなど、社会経済が大きく揺れ動いた時代でした。中でも、東日本大震災は、甚大な被害をもたらしましたが、今春には小峰城跡の復旧も完了し、美しい石垣が再現される見込みとなっております。

新たな時代を見据え、未来を担う子どもたちが健やかに、そして市民一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる「まち」へとさらに飛躍するため、引き続き、産業の振興や子育て・教育環境の充実を図るとともに、本市の強みである歴史や伝統文化を生かしながら、活力ある白河市を創造してまいります。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますよう心からお祈りいたします。

